

事例5

< 事例概要 >

①30歳代前半/ 初産婦/ 自然妊娠。

②妊娠 38 週、血圧 130/80 mmHg台、尿蛋白 3 + を認め、降圧薬内服と家庭血圧測定を指示。家庭血圧は 120～130/80～90 mmHg台で経過。

③妊娠 39 週に陣痛発来と血圧上昇を認め入院。入院時血圧 170/110 mmHg台、降圧薬点滴と血液検査実施（外注検査の結果は確認されず）。陣痛促進薬を点滴投与。入院から約 8 時間後に胎児心拍数低下を認め、陣痛促進薬の投与を中止。緊急帝王切開術を実施し児娩出、術中出血量 2,000 mL以上。児娩出から約 2 時間後、出血量は計 3,000 mL以上。その後、意識レベル低下し、母体搬送依頼。
児娩出から約 3 時間後、搬送先到着。その後、赤血球液の投与を開始し、大動脈遮断術を実施。児娩出から約 6 時間後に死亡。

④妊娠高血圧腎症・HELLP症候群。

⑤解剖有、死亡時画像診断（Ai）無。